

未来の自分のため 何かを失うか

ネット環境にいないと落ち着かない。よくこのように事を言っているのを耳にする。私立中学校生は、ネット環境にいないと休みの日、学校にいなす時間も、誰かとつながってこれない不安を感じる。お茶うけがなくなるのだ。

中学生約家の仙台市の調査では、勉強時間に関わらず、スマホ使用が平日の時間を超えると、数学の平均点が大きく落ち込むという報告が、この日の通り、使い慣れた学力の低下に大きく影響する。

しかしそれだけでは無い。被害は体の様々な箇所及び目のだ。スマホ使用時の姿勢を見てもよ。顔が下に向き、狭く明るい一点に

スマホ。SNS等で交流、ゲーム、調べごと、様々な目的に応じて使えるそれは、今や私達の生活必需品といえる。そこで、わたしたちは附中のスマホ利用状況を調査した。結果、スマホ等電子機器を利用する生徒は8割以上。そのうち、平日6分以上の使用は3割程度。休日では5割以上の方が長時間使用をしている。

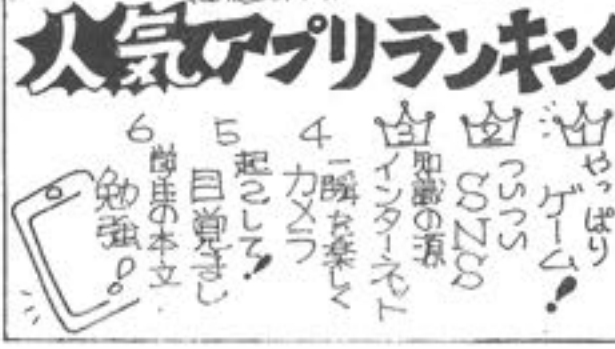
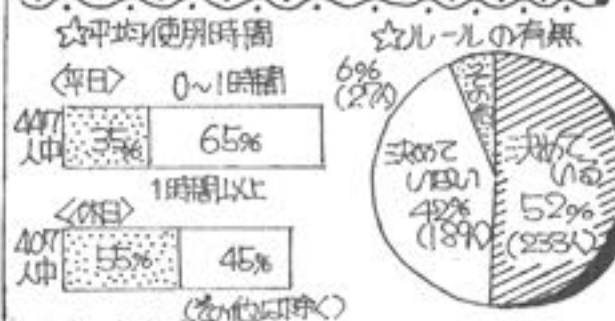
中学生約家の仙台市の調査では、勉強時間に関わらず、スマホ使用が平日の時間を超えると、数学の平均点が大きく落ち込むという報告が、この日の通り、使い慣れた学力の低下に大きく影響する。

しかしそれだけでは無い。被害は体の様々な箇所及び目のだ。スマホ使用時の姿勢を見てもよ。顔が下に向き、狭く明るい一点に

小さき由、片目で見るとしまつ傾向にある。よって左右の視力の差が開き、体全体のコントロールのバランスも崩れてしまつたのだ。更に、附中生に大人気のゲーム。8割以上が戦闘ゲームで、脳の感覚を麻痺させてしまふ。一般的に他人の痛みは鈍感になり、自分の痛みは過剰に敏感になる。対人関係を悪化させてしまつては、元も子もない。

また、今のままでは勉強量が足りない人も確かにいると思う。その思った人は、親の意見を素直に聞か入れ、みるのも良いかもしれない。

「親とネットのつきあい方」
中学生にとって、このように親の意見もわかっているものか



自分のため

しかし、解決法も。疲労はこまめに休憩やフルタイムカッ上で、脳の麻痺は多様な経験による脳の活性化で抑えられる。規則正しい生活も重要だ。

また、今のままでは勉強量が足りない人も確かにいると思う。その思った人は、親の意見を素直に聞か入れ、みるのも良いかもしれない。

日本人のスマホ保有率は71.8%。総務省の調査では、約88%の人がスマホを持っている。当然、トラブルもある。関係ないと思っても、その日は突然に訪れるのだ。自身も、某通販サイトを渡ったメールを受けとった。ウソだと分かって、慌ててしまつた。どのよう行動にも、危険がつきものである。それをどう解決していくのか重要なのだらう。